

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に於いて利用者の危険回避、安全確保の為御家族様承認のもと最低限の身体拘束行為を行っている。(ベッド柵、言葉による行動抑制等)	身体拘束『0』ゼロ	身体拘束適正化委員会に於いて職員職員による利用者の安全確保の見直しをその都度行い見守りによる安全確保を行う。言葉による抑制では無く安全誘導を心掛ける。	3ヶ月
2	35	災害対策 火災だけではなく台風、地震等全ての災害に対する即時対応	災害時に於ける利用者全員の即時の安全確保	職員全員が災害時即時対応出来るようシュミレーションを行う訓練を頻繁に行い災害時に於ける利用者の安全確保の確立を行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4	35				ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。